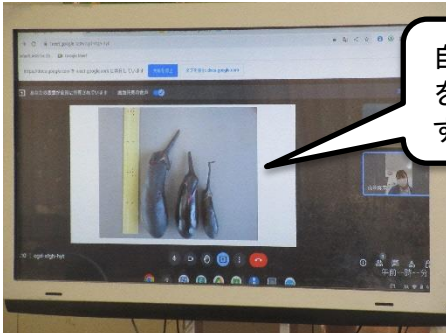


1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	矢掛町立矢掛小学校	実践者名	佐藤 雄太
教科等	生活科	学年	第2学年
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
育成したい 資質・能力	自分たちが困っていることの解決の方法として、Google Meet を使ってインタビューをすることとおして、課題の解決を図る力		
単元・内容等	わたしたちの野菜いばたけ～よりおいしい野菜をそだてよう！～		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	インターネットを使って検索する活動には何度か取り組んでいる。しかし、インターネットを用いた調べ学習では、サイトに書かれた内容を理解することが難しく、あまり成果をあげることができなかった。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
(1) 野菜作りで困っていることについて話し合う。 (2) 困っていることを解決する方法を考える。 ・インターネットを使って調べる。 ・本や図鑑を使って調べる。 ・くわしい人に聞いてみる。 (3) Google Meet を使って JA アグリセンターの人に質問をする。			
			
【質問内容】 ・きゅうりが曲がってしまうのはなぜですか？ ・なすはどんなときがとりごろですか？ ・ピーマンもめかきをしたほうがおいしくなりますか？ ・ミニトマトをより甘くするために今からできることはありますか？ 			
(4) 質問して分かったことを共有し、今後の野菜作りに生かそうとする気持ちを高める。			
実践者の手ごたえ		児童生徒の振り返りや反応等	
Google Meet の活用は初めての試みではあったが、オンラインで直接やりとりができる上、児童が気になったことについて、すぐに質問することができたことがとてもよかった。また、画面共有機能を使って畑の実際の様子を画像で見せながら質問したことで、適切なアドバイスを受けることができた。		(児童の振り返り) 「聞きたいことを聞くことができた。」 「自分たちの野菜のお世話の方法が間違っていたことや、正しい方法にも気付くことができた。」 「画面越しにインタビューするのは緊張したけど、楽しかった。」 「自分で調べても分からなかったことをすぐに教えてくれたのでとても助かった。」	